

水道事業の業務状況をお知らせします

昭和62年度下半期(10月3月)の水道事業について公表します。

水道事業の3月末現在における業務実績は別表のとおりです。

経営面につきましては、前年度を下回る使用水量でありましたが、水道料金の改定により2千217万1千円の単年度純利益を生じました。

しかしながら、今後、水源の整備や未給水地域の解消などに多額の資本費が必要と見込まれています。

また、施設の修繕など維持管理の費用も増加の傾向にあります。

その一方で、使用水量の伸び率の上昇は、当面はあまり期待できず経営成績低下の要因を多く抱えています。

これからも、可能な限り費用の節減に努め、効率経営に取り組みますので一層のご理解とご協力をお願いします。

貸借対照表 (昭和63.3.31現在) (単位:千円)

借方	貸方
資産	負債
・固定資産	固定負債
有形固定資産	流動負債
有形固定資産減価償却累計額	資本金
無形固定資産	自己資本金
・流動資産	借入資本金
・繰延勘定	剰余金
合計	資本剰余金
	利益剰余金
	(うち当年度純利益)
	合計

損益計算書 (昭和62.4.1~昭和63.3.31) (単位:千円)

借方	貸方
上水道事業費	上水道事業収益
湯本簡易水道事業費	湯本簡易水道事業収益
俵山簡易水道事業費	俵山簡易水道事業収益
当年純利益	
合計	合計

企業債明細書 (昭和63.3.31現在) (単位:千円)

区分	年度当初現在高	当年度借入額	当年度償還済額	未償還高
資金運用部	550,929	54,000	11,733	593,196
簡易保険局	415		212	203
公営企業金融庫	206,874		7,034	199,840
市中銀行	9,700		2,000	7,700
計	767,918	54,000	20,979	800,939

固定資産、借入金明細書 有形固定資産明細書 (昭和63.3.31現在) (単位:千円)

区分	現在高
土地建物	42,024
構築物	46,538
機械及び装置	927,412
車両運搬具	109,377
工具器具及び備品	1,268
建設仮勘定	2,779
計	3,900
計	1,133,298

無形固定資産明細書 (昭和63.3.31現在) (単位:千円)

区分	現在高
施設利用権	25
施水利権	1,050
計	1,075

借入金明細書 (昭和63.3.31現在) (単位:千円)

借入先	現在高
一般会計	27,110
計	27,110

昭和63年度 水道事業予算のあらまし (単位:千円)

収益的収入及び支出 (収入) (支出)

水道別	性質別
上水道事業収益	人件費
上水道事業費	物件費等
湯本簡易水道事業収益	支払利息
湯本簡易水道事業費	当年度分損益勘定留保資金
俵山簡易水道事業収益	子備費
俵山簡易水道事業費	寄付金
当期純損失	

資本的収入及び支出 (収入) (支出)

企業債	建設改良費
過年度分損益勘定留保資金	企業債償還金
当年度分損益勘定留保資金	

当期における主要工事

- 駅南地区配水管布設工事 (第1工区) 4,550
- " (第2工区) 6,070
- " (第3工区) 4,000
- " (第4工区) 17,690
- 白濁地区汚水幹線埋設工事に伴う上水道配水管移設工事 5,150
- 市道真弓の木線配水管布設工事 4,670
- 国道191号線送水管布設工事 6,545
- 横断配水管布設工事 7,062
- 縦断 " " 5,267
- 配水管布設工事 (土木事務所前) 2,700
- 県道仙崎港線配水管布設工事 3,920
- 長門地方卸市場横農道配水管布設工事 3,710
- 市道道場原線配水管布設替工事 1,300
- 市道無田線配水管布設工事 2,800
- 湯本簡易水道集中監視設備(その1)工事 3,900
- 俵山簡易水道 " " (その1)工事 3,600

集金人の募集

- 募集人数 1人
- 年齢 50歳未満(63年6月10日現在)
- 職務の内容 水道料金の集金(仙崎、深川地区の一部)
- 勤務日数 別に定めませんが毎月10日程度の見込み
- 勤務時間 別に定めません。
- 委託料 4万5千程度(1か月)
- 委託開始日 63年6月20日
- 申込み期限 63年6月10日
- 申込み方法 本人が水道課へ履歴書を持参してください。
- ※詳細問い合わせ先 水道課総務係(内線211)

6月1日~6月7日 水道週間